

第 640 回：資料調査の実践（1）（DM）

皆様こんにちは。LA 毎週月 14:00~17:00 担当、博士課程（後期）の DM です。今回は、資料調査の実践報告を、数回に分けて行っていきます。

前回分でも申し上げたように、資料調査とは、自分の設定した問題に関連する資料を収集していく作業のことです。ところで、私のレポートは、埴谷雄高の『死霊』を対象に、その作品における「自同律の不快」を主題に設定していました。「自同律の不快」というのは、どうにも内容が複雑そうで、しかも一般的には聞き覚えのない言葉ですから、この主題に関連する資料からいきなり集め始めるというのは、私のような初学者には、どうも無謀であるように思われます。となると、初学者の私が第一に集めるべきは、この問題を扱うにあたってはおそらく初歩的なことが書かれている資料、すなわち、埴谷雄高という人物について書かれている資料であると言えるでしょう。

では、さっそく調べて参りましょう。……ただ、思い返してみると、私は既に、ほんの少しだけ、資料調査をしていたと言えます。以前の問題設定の回で、私は、『鑑賞日本現代文学』第三十巻を借りていたのです。この本には、埴谷雄高という人物とその作品について、基本的なことが書かれていました。あれも一種の資料調査だったわけですね。ただ、問題設定の回では、この資料を見つけていくプロセスについて説明していませんでした。今回は、その分の補足を行っていきましょう。

大学生が資料調査を始める際には、自分

の大学図書館のホームページ、通称 OPAC にて、調べたい資料を検索してみるのが一般的です。

私の場合、外大図書館 OPAC のトップページにある「蔵書検索」のところで、とりあえず最初は「埴谷雄高」と検索することになります。そうすると、外大図書館の蔵書の中で、「埴谷雄高」に関連のある資料がヒットします。検索キーワード「埴谷雄高」で検索してみると、検索結果は 36 件と出ました。結果の並びはデフォルトだと「出版年（降順）」です。つまり、新しく出版された資料からリストが並んでいる、ということになります。

最初の 3 件を見ていきましょう。1 件目は『戦後占領期短篇小説コレクション』。題名から察するに、短篇集。2 件目は『埴谷雄高と存在論』。研究書。基礎知識を身につけてから読んだ方がよさそうです。3 件目は『影絵の世界』。これは著者名が「埴谷雄高」と書かれていますから、埴谷本人の小説、或いはエッセイ集でしょう（後者でした）。

このように探していくと、9 件目にて、『埴谷雄高；吉本隆明 / 磯田光一，北川透編（鑑賞日本現代文学；第 30 巻）』が見つかります。資料名をクリックしてみると、「一般注記」の箇所に、「埴谷雄高研究案内・参考文献目録・年譜:p233~266」と書かれているのが分かります。基礎的な情報が書かれていそうですね。そういうわけで、これを最初の参考文献に決め、「閲覧室書架」に「N910.26=14=30」に所蔵されているという「所蔵情報」をメモしまし

第 640 回：資料調査の実践（1）（DM）

た。ここまでの作業、時間は 10 分！ 思い立ったら検索が吉、ですね。

以上が今回の LA 通信です。この先の話は後期分にて。皆様、どうかよい夏季休暇を……

参考文献

小笠原喜康、片岡則夫『中高生からの論文入門』（講談社現代新書；2511）、講談社、2019 年：閲覧室入口正面、K2511

小熊英二『基礎からわかる論文の書き方』（講談社現代新書；2660）講談社、2022 年：閲覧室入口正面、K2660

戸田山和久『論文の教室：レポートから卒業まで』（NHK ブックス, 1272; 最新版）NHK 出版、2022 年：閲覧室入口正面、N816.5140

ケイト・L・トゥラビアン[編]（沼口隆、沼口好雄[訳]）『シカゴ・スタイル研究論文執筆マニュアル』慶應義塾大学出版会、2012 年：閲覧室入口正面、N836.562